

平成 25 年度地域と連携した子どもの体力向上支援事業 ふりかえりシート

団体名(さくら総合スポーツクラブ)【 児 童 ・ 未就学児 】

1. 事業名

さくらわいわいクラブ

2. 主な活動

- ① ニュースポーツ体験 (スナッグゴルフ、キンボール、ドッジビー、チャレンジ・ザ・ゲーム〈キャッチング・ザ・スティック、リング・キャッチ、ネット・パス・ラリー〉)
- ② アウトドア教室 (川遊びと座禅、筏下り、磯遊び、町探検、そり遊び)
- ③ 体操教室 (トランポリン、マット)
- ④ ダンス教室 (HIPHOP)
- ⑤ 武道系教室 (スポーツチャンバラ)

3. 成果

- ・学校ではできない種目、内容を多く取り入れたことで、暑い夏、冷房の効いた室内にこもることなく汗をかいて体を動かす楽しさを体験した。
- ・磯遊び、川遊びを実施し暑い中ではあったが子供たちは自然の中で楽しんで体を動かす様子が見られた。
- ・1年生～6年生までの幅広い参加者ではあるが、高学年は低学年にアドバイスや応援をする場面もあり、お兄さんお姉さんぶりを発揮してくれ指導者が手を貸さなくてもすみ、異年齢活動の効果が見られた。
- ・高学年と一緒に活動することで、低学年もまねをしようと頑張るので少しずつできることが増えた様に見える。
- ・ニュースポーツ体験では、子どもたちから見るとおじいさん、おばあさんにあたる年齢の人たちに指導してもらいながらスポーツを通じて世代間交流をすることもできた。
- ・20回開催 (出席予定数 540 人に対し 452 人出席 83.7%の出席率)

4. 次年度以降の展望

(今年度の取組の成果や課題を受けて、将来のビジョン、展開の方法など)

- ・中間報告の際「運動を苦手とする子どもだけを集めることは難しい」と報告したところ、県保健体育課より「募集」という方法では難しいのかなと感じていると回答を頂いた。さらに、総合型SCから放課後子ども教室や児童クラブへ定期的な出前教室などができると総合型SCの会員獲得にもつながり、出前教室の専門的プログラムによって子どもたちの興味がわくのではないかとアドバイスを頂いたのを受け、幅広く教室開催ができるよう検討していきたいと考えている。

5. 県への要望(この1年間で感じたことをこの機会に何でも！)

- ・助成をして頂かないと継続的に無料開催することはできないのが事実です。今回、参加料を徴収しないことが条件ではありますが、助成があってもいくらかの参加料(500円くらい)を徴収し受益者負担の考えを利用者に理解してもらうことも必要ではないでしょうか。

【活動写真】

スポーツチャンバラ



(勝負だ！負けないぞー)

座禅



(ドキドキ！たたかれないかなー)

筏下り



(頑張って漕げーもうすぐゴールだ)

町探検



(ぼく、私の町、いい眺めだね。)

リング・キャッチ



(せーの！で交換ね～)

そり遊び



(よーいどん)